

3 初倉地域のワークショップ結果

第1回 地域のいいところ・改善すべきところ

- 地域の良いところ (主な意見)
- ・スーパーや商店が多く、新鮮な野菜や果物を販売している
 - ・保育園やこども園、児童館が多い
 - ・茶園や田園、桜並木、大井川等の自然が多い
 - ・今井信郎屋敷跡、古墳等の歴史的遺産が多い
 - ・法林寺に七福神の像がある
 - ・多様な交通機関がある
 - ・空港、東名ICが近くにあり、交通利便性が高い
- 地域の改善すべきところ
- ・カフェや商店、医療施設、子どもが遊べる整備された公園が少ない
 - ・観光客が滞在する場所がない
 - ・バスの本数が少なく、利便性が低い
 - ・道幅が狭い道路や歩道がない道路、街灯が設置されていない道路がある
 - ・耕作放棄地が増えている
 - ・大型車の交通量が多く、騒音が気になる

第2回 課題解決のアイデア

- 住環境の改善 (主な意見)
- ・医療施設の充実
 - ・子どもが遊べる場所の整備
 - ・安全な通学路の確保
- 防災・防犯面の強化
- ・統廃合後の小学校跡地を防災拠点として活用
 - ・休耕地を太陽光発電所として活用
 - ・近隣地区からの避難者を受け入れる場所の整備
- 歴史文化を継承する場の整備
- ・休耕地を活用した農業体験の場の整備
 - ・山菜採りや茶摘みができるイベントの実施
 - ・初倉まつりを地育の場として活用
- 自然環境の整備
- ・里山を自然公園として整備
- 交通環境の改善
- ・車を使わなくても暮らせるまちづくりの推進
 - ・小型バスやコミュニティバスなど公共交通の充実
 - ・地域ボランティアによる助け合い運転や送迎サービスの実施

第3回 整備方針の検討とまちづくりの目標を考えよう

初倉地域の「まちづくり図」を基に、役割分担を考えながら整備方針を検討しました。(主な意見)

まちづくりの方針	個人(自分)	地域(コミュニティ)	民間(企業等)	行政(島田市)
初倉公民館を中心とした、暮らしやすいまち	・ボランティアなどの活動に参加する ・初倉の店舗で買い物する	・若者中心の自治会づくり ・交流拠点の利用計画づくり	・保育園の建設 ・イベントの開催	・子育て支援のエリアづくり ・公園の整備 ・廃校活用
豊かな自然環境を未来へつなぐまち	・農地を貸し出す ・耕作者などを中心に茶畑などの景観を維持及び保全する	・農業体験のイベントを実施する ・外国人観光客に対応できる体制を整える	・耕作放棄地の利用 ・農業体験や茶摘み体験の実施	・農地の貸出 ・湯田川を活かしたサイクリングロード等を整備する
初倉の歴史・文化を体験できるまち	・拠点をつなぐルート of 掃除活動を行う		・外国人観光客に対応できるようにする	・拠点をつなぐネットワークを整備する
車に頼らなくても快適に暮らせるまち	・バスを利用する	・バスルートの検討 ・地域ボランティアによる助け合い運行を実施する	・移動販売を行う ・デマンド運行を導入する	・コミュニティバスの利便性を上げる ・初倉公民館を交通結節点として整備する

グループごとに「初倉地域のまちづくりの目標」を考え発表し、人気投票(1人3票)を行いました。

グループ	まちづくりの目標(案)	得票数
A	若者が町を作れるまち	13票
B	初倉が好きな人達がもっと好きになる街づくり。	17票
C	A1の活用と共存していくまちづくり	9票
D	自然なつながりが生む長屋心の復活!!	10票
E	住みやすさナンバーワン!安心して子育てができるまち	17票

第4回 自分ができていることを考えよう

地域のまちづくりを進めるためにできること・取り組みたいことや決意表明をグループで話し合いました。

「わたしたちができること」の主な意見

- ・初倉地域を知り、知ってもらう
- ・住民の声を伝える
- ・ボランティア活動に積極的に参加する
- ・地域の活動や行事、祭りに積極的に参加する
- ・自分が所有している農地、田、茶畑を保全する
- ・このワークショップが4回で終わるのはもったいないので、今後もこのような場所を継続していきたい
- ・意見交換会の場所に積極的に参加する

💡 わたしたちが考える“初倉地域のまちづくり”

1 初倉公民館を中心とした、まとまりのあるまち

- ・公民館周辺を拠点として、商業施設や小児科をはじめとする医療機関などを充実させる
- ・イベントができ、子どもから大人までが利用できる公園を増やす
- ・統廃合後で廃校になった校舎を、新たな交流拠点として活用する

2 豊かな自然環境を未来へつなぐまち

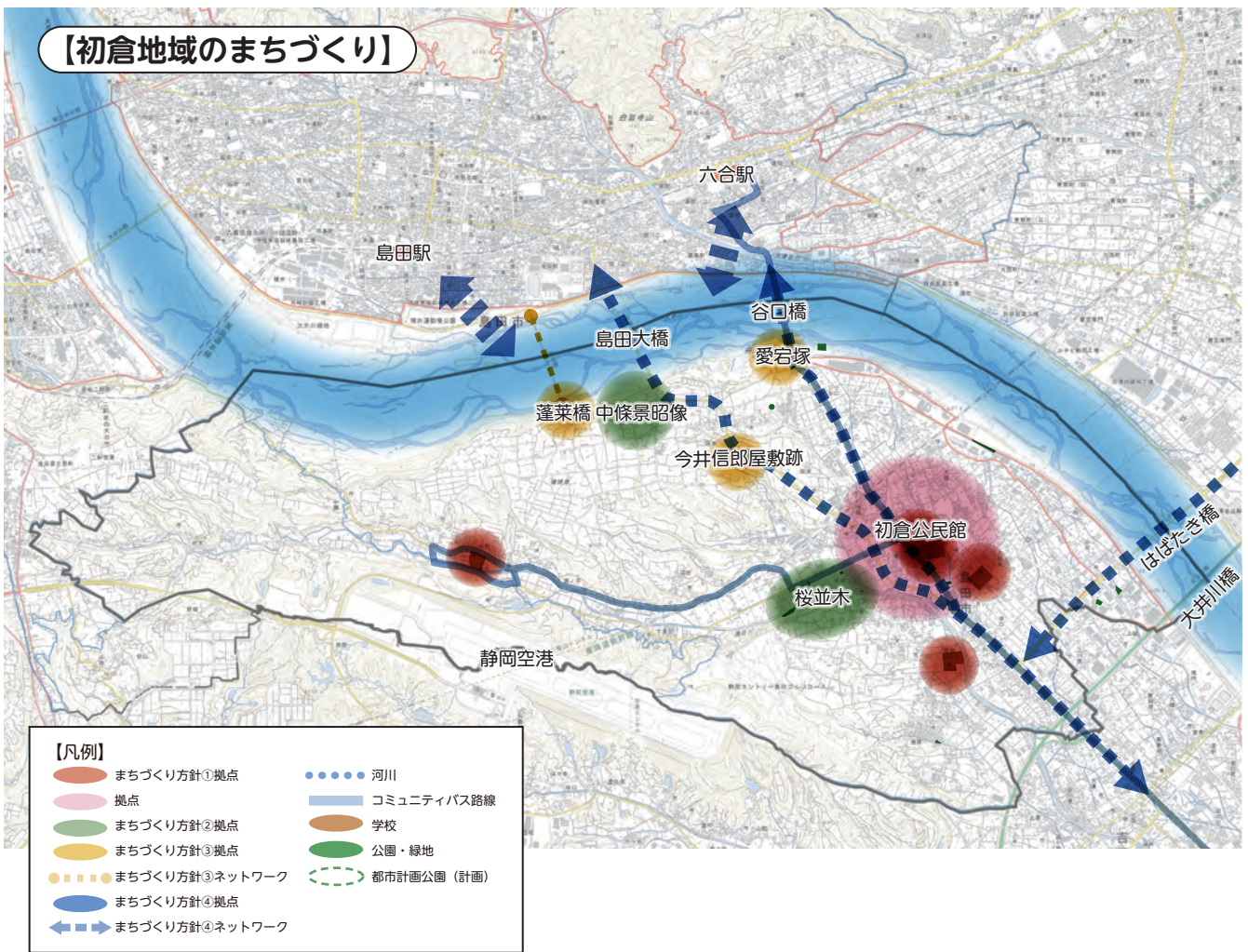
- ・茶畑、田園、桜並木、大井川などの豊かな自然や景観を保全し、活用する
- ・耕作放棄地を活用した、農業体験イベントの実施

3 初倉の歴史・文化を体験できるまち

- ・今井信郎屋敷跡や古墳等の歴史的遺産を活用し、各拠点をつなぐネットワークを形成する
- ・山菜採りや茶摘み体験など、体験型イベントの実施

4 車を使わなくても暮らせるまち

- ・公共交通空白地に、小型バスやコミュニティバスなどの公共交通を充実させる
- ・地域ボランティアによる助け合い運転や送迎サービスの実施
- ・交通量の多い道路が交差する場所を中心に、安全な歩行空間や自転車道を整備する
- ・中心地域や六合地域、空港までのアクセス向上



4 金谷地域のワークショップ結果

第1回 地域のいいところ・改善すべきところ

- 地域の良いところ (主な意見)
- ・アウトレットやマルシェの整備計画がある
 - ・諏訪原城跡、石畳、ふじのくに茶の都ミュージアム、大井川鐵道のSL、志戸呂焼、日隈地蔵、茶まつりなど観光資源が豊富にある
 - ・大井川鐵道や新東名島田金谷IC、国道1号、空港があり、交通利便性が高い
- 地域の改善すべきところ
- ・医療施設や飲食店、商業施設が少ない
 - ・児童館が少なく、小さな子どもと遊べる場所が少ない
 - ・大井川橋や国道1号で渋滞が発生する
 - ・コミュニティバスがない地域がある
 - ・空き地、空き家、空き店舗が多い
 - ・通学路が狭い、街灯が少ないなど、地域の安全対策が十分ではない
 - ・地すべり危険区域があり、対策が必要である
 - ・耕作放棄地が多い
 - ・観光施設同士のつながりが弱い

第2回 課題解決のアイデア

- 生活利便性の向上 (主な意見)
- ・金谷駅周辺の商店街の活性化
 - ・医療施設の充実や健康増進施設の整備
- 空き家・空き地・茶畑の活用
- ・空き家や空き地を民泊施設や交流の場として活用
 - ・放棄茶畑を新作物の場として活用
- 働く場所づくり
- ・交通利便性の高さを活かした大手物流会社の誘致
- 観光資源の強化
- ・各観光拠点のアクセス強化
 - ・外国人観光客に対応できる事業者、店舗の整備
 - ・金谷の特産メニューの開発
 - ・観光マップづくり
- 公共交通環境の充実
- ・コミュニティバスなどの充実
 - ・交通空白地域の解消

第3回 整備方針の検討とまちづくりの目標を考えよう

金谷地域の「まちづくり図」を基に、役割分担を考えながら整備方針を検討しました。(主な意見)

まちづくりの方針	個人(自分)	地域(コミュニティ)	民間(企業等)	行政(島田市)
金谷公民館を中心とした、暮らしやすいまち	・イベントや行事に参加し協力する	・イベントや行事を企画し実施する	・医療施設の充実を図る ・地域活動に貢献する ・生活用品の宅配を行う	・病院施設の集約を進める ・防災拠点をつくる
空き家などを活用した交流空間の創出	・住民が店を開くなどして、交流の場をつくる	・住民の居場所をつくる ・空き地活用	・茶畑を活用した交流空間をつくる	・補助金などによる支援を行う
大井川などの自然を活かした企業誘致	・企業誘致で利用できそうな土地があれば提供する		・地元住民を採用し、雇用を創出する	・新東名ICを活用した企業誘致を進める
豊富な観光資源をめぐるまち	・地域の美化活動に参加する	・地域の歴史や文化を次の世代に伝える ・地域の名物をつくる	・見学施設の整備など体験型観光の場を提供する ・大人数が宿泊できるホテルの建設	・イベント時にシャトルバスを運行する
充実した公共交通のあるまち	・公共交通機関を積極的に活用する	・バスの運行費の一部を負担する ・地域で協力して交通難民を減らす	・公共交通の利便性を向上する	・大井川鐵道を活用し観光客を呼び込む ・道路整備を進める

グループごとに「六合地域のまちづくりの目標」を考え発表し、人気投票(1人3票)を行いました。

グループ	まちづくりの目標(案)	得票数
A	老人も若者も生きがいを持ち、元気に暮らせる町	10票
B	誰もが明るく安心、楽しく暮らせるまち! 防災対策の充実したまち!	6票
C&E	新東名をはじめとする交通機関を活用し、地域が必要性を理解し雇用を生み出すまちづくり(100年先を考えた企業誘致)	7票
D	みんなが金谷に住んで良かったことを楽しく話せる(街のことを良く知る)→積極的なコミュニティ参加)	7票

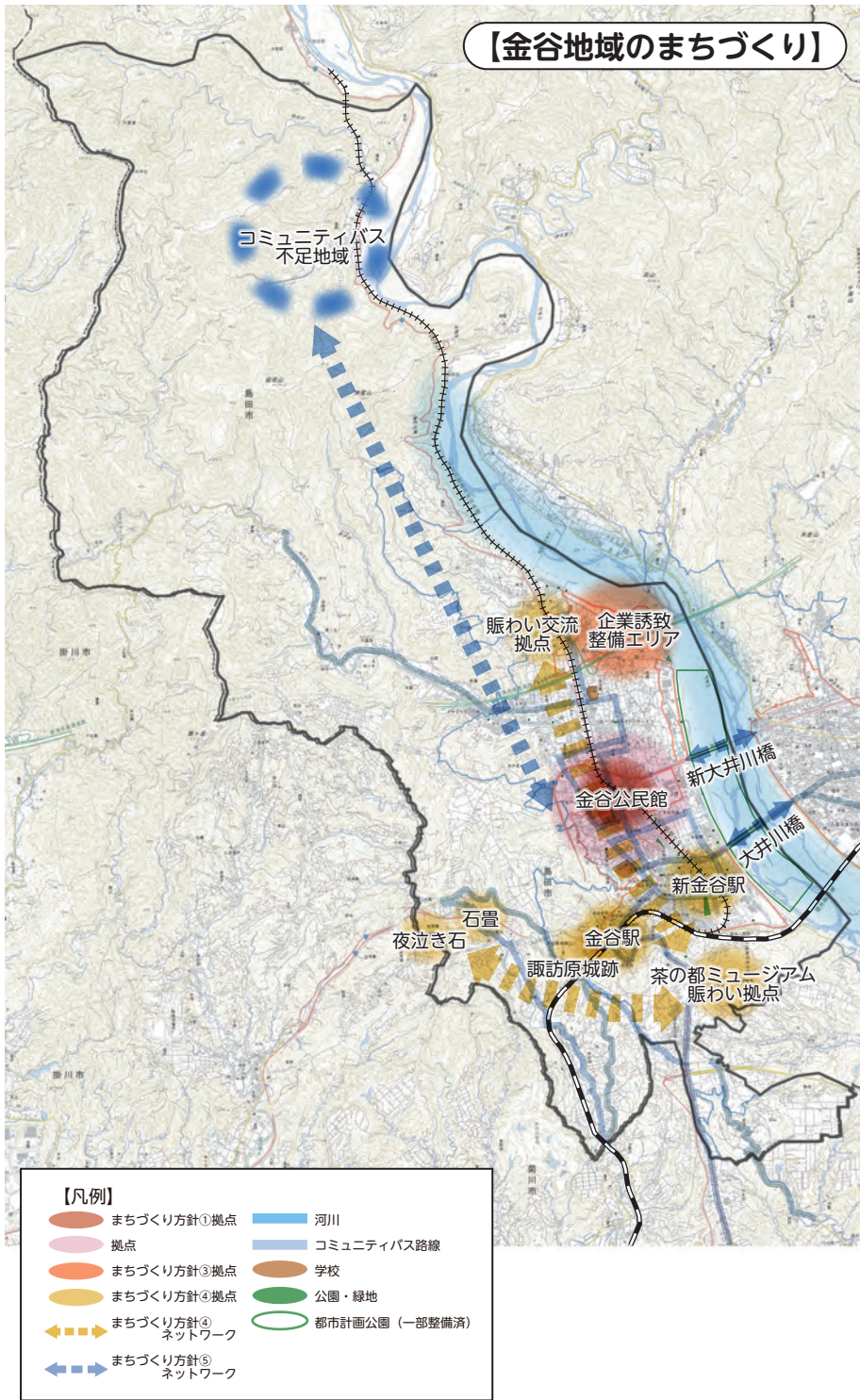
第4回 自分ができることを考えよう

地域のまちづくりを進めるためにできること・取り組みたいことや決意表明をグループで話し合いました。

『わたしたちができること』の主な意見

- ・年代を問わず地域の人と関わりを持つ
- ・地域イベントや行事に協力し、参加する
- ・金谷地域に住み続け、子育てする
- ・子ども達と地域を楽しみ、にぎわいを創出する
- ・KADODE OOIGAWAと連携し、農産物などを販売する
- ・WSで話し合った内容を、自治会を通じ地域に浸透させる

💡 わたしたちが考える “金谷地域のまちづくり”



- 1 金谷公民館を中心とした、暮らしやすいまち**
 - 旧金谷庁舎周辺の拠点に、商業施設や医療施設を誘導する
- 2 空き家などを活用した交流空間の創出**
 - 地域内に増え始めている空き家や空き地をリノベーションし、地域住民が交流できる施設として活用する
 - 放棄茶畑を新たな作物の耕作地として活用し、これまでとは異なる交流を生み出す
- 3 大井川などの自然を活かした企業誘致**
 - 大井川の豊かな水資源を活かした企業誘致を行い、雇用を創出する
- 4 豊富な観光資源をめぐるまち**
 - 駅周辺の観光拠点の整備
 - 地域内に豊富に存在する観光資源の強化
 - 点在している歴史資源や文化資源をつなぐネットワークの形成
 - 金谷地域の観光マップの作成
 - 金谷地域の特産品の開発
- 5 充実した公共交通があるまち**
 - 大井川鉄道やバスなどによる地域公共交通の充実
 - 賑わい拠点とつながるネットワークの形成
 - 大井川に架かる橋の拡幅



5 大津地域 タウンミーティング結果

■都市計画マスタープランについて

全体構想及び地域別構想(案)について、参加者からの主な意見は以下の通りです。

全体構想及び地域別構想(案)に関する主な意見

〈交通環境〉

- ・ はなみずき通りなどの渋滞を解消する
- ・ 野田IC周辺に市街地を整備する
- ・ 高齢化が進んでも交通アクセスが困らないようなコミュニティバスを整備する
- ・ 公共交通を充実させる

〈農業〉

- ・ 耕作放棄地の利活用を図る

〈インフラ〉

- ・ 安全に暮らせるよう、インフラ整備をする

〈公園〉

- ・ 子どもが安心して遊べる公園をつくる
- ・ 高齢者や子どもたちが気軽に利用できる体験型の自然公園や広場を整備する
- ・ 市民が集まってスポーツ等ができる場所をつくる

■わたしの考える“地域の未来”

グループごとに“大津地域の未来”について話し合い、まちづくりへの期待や地域の未来像について話し合いました。

グループ	主な意見
A	大津地区内の由緒ある史跡をクローズアップして、観光客を集める 歴史文化をもう一度見直す 高齢者の憩いの場所をつくる 歴史や自然を活かした地域づくりを進める
B	観光資源を活かし、町全体の活性化を図る 万人が安心して暮らせるまちにする 土地利用を見直し、有効活用する
C	他地域から来たくなる地区にする 免許返納しても困らない地域にする 安心・安全・快適な道路網づくりを進める
D	緑と鳥の音がするまちにする 風の通る田んぼ、風にそよぐ竹林などの環境を維持する 住みやすいまちにする
E	時代にマッチした土地利用を行う
F	自然災害対策を行ったうえで、自然との共生を考えたまちづくりを進める 子どもからお年寄りまで自然の中で触れ合える地域づくりを進める 地域で共同して農業をする 子どもたちが自然に触れることができる地域にする



6 伊久身地域 タウンミーティング結果

■都市計画マスタープランについて

全体構想及び地域別構想(案)について、参加者からの主な意見は以下の通りです。

全体構想及び地域別構想(案)に関する主な意見

- | | |
|--|---|
| <p>〈交通〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性を向上する ・乗合タクシーを導入するなど、自分で車が運転できない人が快適に移動できるようにする ・狭あい道路をなくす <p>〈施設整備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊久美川周辺に駐車場を整備する ・高齢者が週末に過ごせる場所をつくる ・バイクや自転車で来訪した人が過ごせる場所をつくる <p>〈子育て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい環境をつくる ・公園など子どもが遊べる場所を整備する | <p>〈観光〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊久美川を活用する <p>〈移住・定住〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古民家への移住希望者に優遇措置を設ける ・移住希望者を増やすために地域をPRする ・空き家を活用する ・地域住民と意見交換をしつつ、人口減少を止める手段を考える <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山にハイキングコースを整備するなど、健康づくりを目指した活動を進める ・農地転用の規制を緩める |
|--|---|

■わたしの考える“地域の未来”

グループごとに“伊久身地域の未来”について話し合い、まちづくりへの期待や地域の未来像について『未来カード』に記入しました。

グループ	主な意見
A	伊久身地域に住んでいる人も、訪れた人も、自然を満喫できるまちにする 他地域までの交通利便性を上げる
B	自然や農地、林地を体験の場として活用する 定住者を増やすなど、地域の活性化を図る 自然を活かした観光事業を検討する 自然環境を大切に、地域住民が住みやすいまちにする
C	安心して年をとれるまちにする 小学校跡地を活用し、遊びに来る人を増やす 子どもが安全に遊べる場所をつくる
D	子どもからお年寄りまで誰もが生活しやすい地域にする 遊びに来やすい環境をつくりにぎわいを創出する 若い世代が生活しやすいまちにする コミュニティーバスに代わる新しい移動手段を整備する
E	空き家を活用し人を集める 観光地として人を集める



7 大長地域 タウンミーティング結果

■都市計画マスタープランについて

全体構想及び地域別構想(案)について、参加者からの主な意見は以下の通りです。

全体構想及び地域別構想(案)に関する主な意見

〈計画全体〉 ・将来に希望の持てるまちづくりを進める 〈施設整備〉 ・伊太小学校の跡地を防災公園にする ・島田駅周辺に商業施設を整備し活性化を図る ・各小学校の跡地の利活用を検討する 〈人口減少対策〉 ・企業誘致を行い、定住人口を増やす ・他地域への流出を抑制する	〈農業〉 ・農産業の後継者を育成する ・農地を集約する ・新しい事業に挑戦しやすい制度をつくる 〈交通〉 ・デマンド運行を推進する ・KADODEOOIGAWAと神座地区を結ぶ、道路や橋をつくる
--	---

■わたしの考える“地域の未来”

グループごとに“大長地域の未来”について話し合い、まちづくりへの期待や地域の未来像について『未来カード』に記入しました。

グループ	主な意見
A	ゆったり暮らせる地域にする 人口減少や空き家問題を改善する 空き家を活用し高齢者の転入を増やす
B	田舎で老後を過ごそうと考えている人に地域の魅力を発信する 学校跡地を利用した地域拠点をつくる 自家用車以外でも移動しやすい交通環境を整える 子どもの笑い声があふれるまちにする 若者が定住する地域にする
C	大人から子どもまで、誰でも生活しやすい地域にする 交通利便性を高くする 地域で育った子どもたちが他地域へ流出しても、また戻ってくる地域にする
D	住みたいと思える魅力をつくる 車がなくても移動できるようにする 同世代の人が多く集まる地域にする 「住み心地のよいまち」という地域の良さを活かす
E	耕作放棄地をなくす



8 川根地域 タウンミーティング結果

■都市計画マスタープランについて

全体構想及び地域別構想(案)について、参加者からの主な意見は以下の通りです。

全体構想及び地域別構想(案)に関する主な意見

〈交通〉

- ・家山地区を拠点とした各集落をネットワークする公共交通を確保する
- ・自主運行バスを導入する

〈施設整備〉

- ・公共施設を再編する
- ・過疎化した場合を踏まえたまちづくりを考える
- ・既存の公共施設を統廃合し、医療機能を有した複合施設を設ける
- ・市所有の土地を安く提供し、一般住宅として販売する

〈医療〉

- ・市民病院の医師を確保するなど、診療所などを今後も維持できるようにしてほしい
- ・産婦人科のある病院がほしい

〈子育て〉

- ・子育て支援住宅に住める期間が決まっているため、その後の対応について相談できる場所をつくる
- ・子育てにやさしいまちづくりを進める

〈観光〉

- ・大井川を横断する周遊コースを設ける
- ・被災時に観光客や外国人が避難経路等が分かるようにする
- ・合併してお祭りなどの地域行事が増えたため、地域の活動を見直す
- ・地域資源の活用方法を検討する
- ・パラグライダー大会などの情報発信を強化する

■わたしの考える“地域の未来”

グループごとに“川根地域の未来”について話し合い、まちづくりへの期待や地域の未来像について『未来カード』に記入しました。

グループ	主な意見
A	自然を大切に共生して、住んで良し訪れて良しのおもいやりあふれるまちづくりを進める お茶産業以外の観光農園や野菜工場などに取り組む 自然資源を活かした集客方法を考える
B	里山の暮らしを守るために、世代間・集落間のネットワークを充実させる 豊富な観光資源活かし、アクティビティ事業を構築する
C	日本の原風景や文化を観光に活かす 人口減少に対処し、健康長寿なまちづくりを目指し、住民の交流を活発化する 近隣関係の密度を高める活動をコミュニティ内で行う 防犯に強いまちになるよう住民組織を育てる
D	富士山静岡空港などから観光客を誘致し交流人口を増加・維持する 自然と共生しながら、にぎわいのあるまちづくりを進める 住民が楽しく安心して住める地域にする
E	人が住み続けることができる町にする 子どもや子育て世代が住みやすい地域にする 若者が定住できる地域にする



委員名簿

(1) アドバイザー会議 (◎会長、○副会長)

分野	氏名	役職等
都市計画	◎ 海道 清信	名城大学都市情報学部 教授
建築	○ 寒竹 伸一	静岡文化芸術大学 副学長
防災	岩田 孝仁	静岡大学教授 防災センター長
都市及び地方計画	角入 一典	日本技術士会静岡県支部
経済	玉置 実	静岡経済研究所 主席研究員
行政	内山 和好	静岡県交通基盤部 島田土木事務所長 (2018年度)
	佐野 貴洋	静岡県交通基盤部 島田土木事務所長 (2019年度)

(2) まちづくり市民会議 (◎会長、○副会長)

区分	氏名	職業等 (所属)
公募	権田 真知子	会社代表 ((同)YUI)
	荒井 浩介	会社代表 (ルーフアンドベンチ(株))
	戸塚 康之	会社代表 ((有)アスカエンジニアリング)
団体推薦	◎ 佐久間 章次	島田商工会議所 (2018年度)
	◎ 北川 雅之	島田商工会議所 (2019年度)
	○ 新聞 康博	島田市自治会連合会
	太田 拓男	島田市自治会連合会
	木村 恭輔	島田青年会議所
	鶴川 忠明	島田市社会福祉協議会
	大塚 弘子	交通事業者 (タクシー協会) (2019年度)
その他	北川 有香	男女共同参画啓発推進委員
	田代 紗莉依	静岡県立大学 薬学部
	鈴木 悠	静岡福祉大学 社会福祉学部
市職員	堀崎 大二郎	地域生活部 市民協働課
	安達 佑美	地域生活部 生活安心課
	松下 未奈子	行政経営部 人事課
	杉浦 元紀	支所 川根地域総合課 (2018年度)

(3) 都市計画審議会 (◎会長、○副会長)

区分	氏名	役職等	
学識経験者	商工業	◎ 岩原 茂雄	島田商工会議所会頭 (2018年度)
		◎ 大久保 節夫	島田商工会議所会頭 (2019年度)
	都市計画	○ 海道 清信	名城大学都市情報学部 教授
		東 恵子	東海大学 名誉教授
	建築	橋本 慶弘	志太建築士会 島田地区長
農業	石神 三重子	島田市農業委員	
福祉	横田 一女	島田市民生委員児童委員	
市議会議員	伊藤 孝		
	藤本 善男		
	村田 千鶴子		
	横田 川真人	(2018年度)	
住民の代表	大関 衣世	(2019年度)	
	横田 修兵	島田市自治会連合会	
	杉山 八郎	島田市自治会連合会	
	塚本 ひろ子	しまだ次世代育成支援ネットワーク	
関係行政機関	内山 和好	静岡県交通基盤部 島田土木事務所長 (2018年度)	
	佐野 貴洋	静岡県交通基盤部 島田土木事務所長 (2019年度)	
	塚本 忠士	志太榛原農林事務所長 (2018年度)	
	望月 辰彦	志太榛原農林事務所長 (2019年度)	
	吉田 光広	島田警察署長 (2018年度)	
	大村 和寿	島田警察署長 (2019年度)	



(4) 策定委員会

	職名	氏名
委員長	副市長	牛尾 伸吾
	市長戦略部長	鈴木 将未
委員	危機管理部長	眞鍋 和徳 (2019年11月まで)
		高井 勝典 (2019年11月から)
	地域生活部長	杉村 嘉弘 (2018年度)
		三浦 洋市 (2019年度)
	健康福祉部長	横田川 雅敏 (2018年度)
		畑 活年 (2019年度)
	こども未来部長	孕石 晃
	産業観光部長	谷河 範夫
	都市基盤部長	三浦 洋市 (2018年度)
		田崎 武明 (2019年度)
	行政経営部長	北川 博美
	教育部長	畑 活年 (2018年度)
		大石 剛寿 (2019年度)
病院事務部長	今村 重則	

(5) 策定幹事会

	役職	氏名	
幹事	市長戦略部	戦略推進課長 駒形 進也	
	危機管理部	危機管理課長 天野 裕継	
	地域生活部	生活安心課長	松村 竜次郎 (2018年度)
			天野 一彦 (2019年度)
		環境課長	橋本 孝
	健康福祉部	福祉課長	岡部 孝祥
	こども未来部	保育支援課長	鈴木 龍彦
	産業観光部	農林課長	堀井 直樹
		商工課長	菊池 智博 (2018年度)
			中村 広史 (2019年度)
		内陸フロンティア推進課長	田中 義臣
		文化資源活用課長	太田 直樹
	都市基盤部	都市政策課長	大畑 和弘
		すぐやる課長	田崎 武明 (2018年度)
			須藤 嘉久 (2019年度)
		建設課長	菅沼 克章
		建築住宅課長	秋山 尚弘
			杉本 隆良 (2018年度)
	水道課長	木村 浩之 (2019年度)	
		下水道課長	大石 智浩
行政経営部	財政課長	前島 秀基	
	資産活用課長	鈴木 明宏	
教育部	教育総務課長	平松 栄治	
	社会教育課長	南條 隆彦	
	農業委員会事務局長	鈴木 高雄	
	病院事務部経営企画課長	大塚 昌利	

(6) 事務局

職名	役職	氏名
都市基盤部都市政策課	課長	大畑 和弘
	係長	大池 信司
	主任技師	田村 登央
	主査	中野 文敬
		遠藤 有喜
		田村 享広



島田市都市計画マスタープラン

(都市計画に関する基本的な方針)

令和2年3月

編集・発行 島田市都市基盤部都市政策課
〒427-8501 静岡県島田市中心1番の1
TEL : 0547-36-7177 FAX : 0547-37-7514
E-mail : toshikei@city.shimada.lg.jp
URL : <http://www.city.shimada.shizuoka.jp>



shimada city planning master plan
島田市都市計画マスタープラン
(都市計画に関する基本的な方針)

令和2年3月

島田市都市基盤部都市政策課

URL : <http://www.city.shimada.shizuoka.jp>

E-mail : toshikei@city.shimada.lg.jp

T E L : 0547-36-7177 FAX : 0547-37-7514

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1